



広報

## イキシア

26年1月  
100号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっと関心を集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

## 『世代交代に向けて』

理事長 寺田 一郎

明けましておめでとうござい  
ます。今年も新年のご挨拶がで  
きることを感謝します。

今年の十月にワーナーホーム  
は四十周年を迎えます。四十年前  
にホレブ寮が開所しました。前身  
である東葛工芸センターから四  
十五周年に当たります。  
地域に安心を

ホレブ寮の開所式は一九八六  
年十月一日に行われました。開  
所式に当たって私は次のように  
挨拶しました。

「高村光太郎が、この地に妻智恵  
子を伴ってから五十二年、今ここ  
にワーナーホームが誕生いたし  
ました。このワーナーホームは昨  
年の計画発表以来さまざまな意  
味で注目を集めてまいりました。  
(中略) 私たちの仕事はまさにこ  
れからでございます。その仕事と  
はご両親やご兄弟に代わっての  
寮生との二人三脚であります。  
高齢のご両親や病にかかったご  
本人にこれ以上苦しみを強いる  
わけにはまいりません。このワー  
ナーホームはそういう人たちの  
悲痛な叫びの上に立っているわ  
けでございます(以下省略)」  
今、読み返してみると恥ずか

しい限りですが、三十八歳の青年  
の気負いとしてお許し下さい。当  
時私たちにご家族を託されたご  
両親の多くと立上げを支えてく  
れた方々の多くは既に他界され  
ています。また、関係者によるイ  
キシア会とご家族のカトリック会  
は、今日まで変わらず大きな支  
えとなってくれています。

ホレブ寮開設当時、ご家族を  
はじめとして関りのあつた方々  
が私たちに求めたものは何だつ  
たのでしょうか。親亡き後、障害  
者の居場所、社会参加などの言  
葉が浮かびます。これらの要求を  
ひと言で言い替えば、「安心」  
という言葉が最も適しているよ  
うに思います。ご家族、当事者、  
行政などの人たちの安心でした。  
それがワーナーホームの目標  
だったのです。その目標を達成す  
るために、ホレブ寮を出発点とし  
て必要とされる事業に取り組ん  
できました。その活動を進める上  
での基本方針は「信・望・愛」でし  
た。そして職員、利用者、ご家族、  
関係者を結びつける言葉が「we  
are not alone 私たちは一人では  
ない」でした。これらはワーナー  
ホームの理念として継承されてい

くことを願っています。なお、ワー  
ナーホームの理念は、時代の要請  
に対応して何度か修正が加えら  
れてきました。

## 事業継承

組織の承継は、前号(第九十九  
号)では「属人的経営から組織的  
経営へ」ということを書きまし  
た。さらに前々号(第九十八号)で  
は「チーム作り」が私の役割の最  
終章ということに触れました。ど  
れも世代交代という大きな変  
化、避けて通れない節目の時が目  
前に迫っていることを関係者と  
職員にお伝えしたつもりです。

各拠点の運営を任されている  
統括施設長たちと事務長が事業  
承継という大きな課題に取り組  
んでいます。今後の障害福祉分野  
は、拡大を続けることが予想さ  
れます。障害や疾病は社会的な  
認識が高まるのと比例して対象  
者が増えます。うつ病がよい例で  
す。一方で、私たち団塊の世代  
がこれから十年もすれば大幅に  
減少します。平均余命からは、人  
生一〇〇年とは行きません。そ  
のとき高齢者福祉から障害福祉  
へのシフトが起こります。駅前に  
福祉事業所が軒を並べる時代に

なります。事業者として地域のニ  
ーズにどう応えるのか、組織の存  
続がかかっています。

新しい発想が必要になります。  
既存の制度を活用した新たな事  
業展開も必要になるでしょう。「マ  
ネジメント」(P・F・ドラッカー)で  
は不況時代に高級車キヤデラック  
を発売して活路を開いたGM(米  
国)の例が紹介されていますが、ホ  
レブ寮がまさにこれでした。それま  
での常識を超えたところに新天地  
が開かれます。ワーナーホームのこ  
れからの事業展開に、新しい発想  
が必要です。既存制度を活用して  
地域の福祉ニーズに対応するため  
の新たな事業展開。ワーナーホー  
ムは今、世代交代と新たな発想と  
いう二つの局面に向かい合ってい  
ます。

それに必要な新たな組織体制  
については、新理事長と拠点毎の  
統括施設長を中心とした体制を  
想定しています。理念を継承しな  
がら責任と権限の明確化、それ  
を支える体制作りに取り組んで  
います。



精神保健福祉事業功勞者表彰  
千葉保護観察所長感謝状

令和七年十一月五日に開催された、心の健康フェアにて、「千葉県精神保健福祉事業功労者 健康福祉部長表彰」を受賞いたしました。

十一月二十日に開催された第六十八回千葉県更生保護大会にて、「千葉保護観察所長感



長年にわたり、千葉県内での精神保健福祉と更生支援に尽力してきた活動が評価されたことを、職員一同大変光榮に感じております。

これからも地域の皆さまとの繋がりを大切にしながら、地域福祉のさらなる充実に向けて努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。



秋まっり

十月二十五日(金) 第五回となる「すくすくみなな秋祭り」を開催しました。今年はずくすくハウスが誰でも遊べるテーマパークに変身し、コンゼゾには、障害のあるすまない子も思いきり遊び、楽しめる一日を目指しました。

当日はあいにくの雨でしたが、神奈川で放課後等アイサトリビュを運営するリニアさんによる「室内遊園地」をはじめ、重度障害のある書道家・長田星哉さんの書道パフォーマンス、就労支援事業所や地域の皆さまによる多彩なワークショップやマルシェが並び、会場は多くの来場者で天気に賑わいました。

今回のお祭りでは、ずくすくハウスの各事業所もブースを出展しました。ずくすくホップ・ステップ・ジャンプでは、「視線入力装置」や「一本の杖」の二ブースを展開。手足を動かすことや物を投げるのが難しい子どもたちが、視線入力装置やスィッチを使ってゲームを楽しんだりボールを飛ばしたりする姿が見られ、笑顔いっぱいの子が生き生きとした表情が印象的でした。

パズル高田では、生活介護事業

所によると、やはり体験で、就  
総統と移住制事業所、予備  
リッパ、リッパ、リッパ、リッパ、  
施、普賢、リッパ、リッパ、リッパ、  
ている畑の、リッパ、リッパ、  
のよう、リッパ、リッパ、リッパ、  
方々と、リッパ、リッパ、リッパ、  
を共有、リッパ、リッパ、リッパ、  
ました。また、リッパ、リッパ、  
給付け、リッパ、リッパ、リッパ、  
頃の仕事を、リッパ、リッパ、  
ら体験、リッパ、リッパ、リッパ、  
流が、リッパ、リッパ、リッパ、  
Sandwich Cafe、リッパ、リッパ、  
田店では、リッパ、リッパ、リッパ、  
ンダ、リッパ、リッパ、リッパ、  
リッパ、リッパ、リッパ、リッパ、  
リッパ、リッパ、リッパ、リッパ、  
上、リッパ、リッパ、リッパ、  
供、リッパ、リッパ、リッパ、  
やす、リッパ、リッパ、リッパ、  
ト、リッパ、リッパ、リッパ、  
ちも、リッパ、リッパ、リッパ、  
緒に、リッパ、リッパ、リッパ、  
が、リッパ、リッパ、リッパ、  
すぐ、リッパ、リッパ、リッパ、  
や、リッパ、リッパ、リッパ、  
心、リッパ、リッパ、リッパ、  
して、リッパ、リッパ、リッパ、  
内、リッパ、リッパ、リッパ、  
が、リッパ、リッパ、リッパ、  
域に、リッパ、リッパ、リッパ、  
参加、リッパ、リッパ、リッパ、  
います。

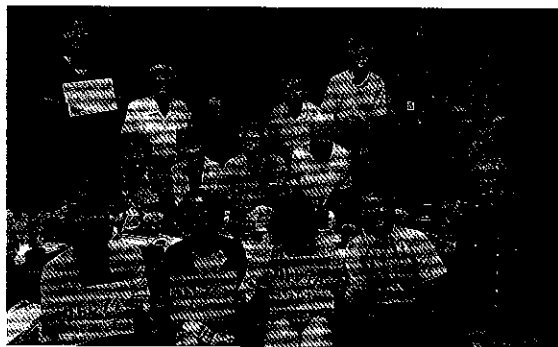
## カトレア会活動報告

九月二十日(土)にカトレ

ア会交流会を恒例の築地日本海千葉駅前店にて開催し、ご家族十一名、職員五名が参加しました。新たに二名のご家族にご参加いただきました。ご家族同士、これまでの生活について、うれしかった話や大変だった話、ワーナーホームの利用を始めてからの変化や現状についてなど、様々な話をしながら交流を深めました。最後は「ふるさと」を合唱し、とても良い雰囲気の中終えることができました。

十月二十五日(土)には、

みんなのまつりに、カトレア会の模擬店を役員の皆様で行いました。今年のテーマが「和気あいあい、遊ぶ!楽しむ!はじめの1歩!」はじめての「一歩」でしたので、じゃんけん対決をし、勝てば飲み物一本!というゲームを企画し、利用者の皆様はじめ、来場者・職員も楽しんでいました。家族会として、法人行事に参加し、利用者や職員の様子を見てもらい、活動を知ってもらおう機会になったと思います。今後もカトレア会の活動を活性化していきます。(橋本)

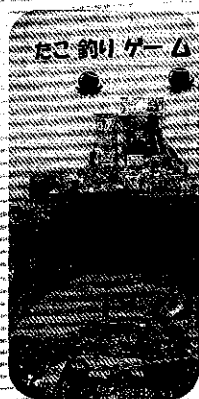


## 第30回みんなのまつり

和気あいあい～遊ぶ!楽しむ!はじめの1歩!～



十月二十五日(土)に第三十回みんなのまつりを開催いたしました。今年度のテーマは「和気あいあい、遊ぶ!楽しむ!はじめの1歩!」です。コロナ禍ですべてきていなくなった外部機関との交流を通して、かつてのみんなのまつりらしさを取り戻す「はじめの一歩」どできたらと思ひ決めました。当日は、あいにくの雨模様で、模擬店やステージ発表を室内で実施しました。各模擬店からはゲームやパン販売、外部模擬店はフラミンゴフルト、グレイプ、シフォンケーキ、ハンドメイド作品の販売がありました。天気が悪い中ででしたが、利用者・家族、職員も皆が楽しむことができました。



だけでなく職員も参加しました。日々の業務の間に練習をして最高のステージとなりました。そして今年度は一般社団法人千葉ダルクによる沖縄伝統文化エイサー演舞を披露していただきました。コロナ禍で規模を縮小してきたみんなのまつりを少しですが、以前のまつりに戻す事ができたのではと感じています。今後も皆様とまつりを通して、交流ができるように企画していきます。ご来場いただきまして皆様誠にありがとうございました。来年度もたくさんの方々のご来場をお待ちしております。

# 2026年 あけまして おめでとうございます!

施設長のカタはイフケドロー!

「好きな漢字」

「ワナーホームに大感謝の気持ち」

「仕事のやりがい」「2026年の抱負」



## 誠

事務長

野老正樹

ワナーホームに入居したきっかけ

人のためになる仕事があったから。

仕事のやりがい

申請した書類が無事に通った時。

2026年抱負

物事に対して、決断できる人になりたい。

## 遊

統括施設長

山岡功平

ワナーホームに入居したきっかけ

精神障害者社会復帰施設の時代から、先駆的なワナーホームに魅力を感じていました。何年か越しに千葉に来ることになったのです。

仕事のやりがい

利用者の思いがけない一面に触れたり、共通の話題に花が咲くときが嬉しいです。

2026年抱負

利用者だけでなく、多くの職員とも会話をしたいと思っています。

## 亮

統括施設長・人事課長

高木由佳

ワナーホームに入居したきっかけ

パンピングハウスのプログラムで、歌声喫茶を行っていた声楽家の坂東久美子さんの紹介です。事務として面接を受けました。今でも面接の時の事を覚えています。

仕事のやりがい

利用者、職員と喜びや悩みを一喜一憂しつつ、一緒に同じ時間を過ごせること。

2026年抱負

長生拠点の中・長期計画を形にする。明るく、はつきりと、爽やかに過ごす。

## 笑

統括施設長

大久保夏樹

ワナーホームに入居したきっかけ

相談支援という仕事に興味をもち、こどもの相談ができたらいいなと思い、就職しました。

仕事のやりがい

こどもたちやメンバー、ご家族、スタッフ達の笑った顔、真剣な顔、ほっとした顔を見ること。いろんなことや出会いを経験できる素敵な仕事だと思っています。

2026年抱負

走り出す前にちゃんと考える。

## 明

統括施設長

武藤朱里

ワナーホームに入居したきっかけ

私は、人と関わる仕事をしたいとの想いから、ワナーホームを選びました。

仕事のやりがい

利用者、家族、職員と話ができること、一緒に過ごせて良かったと思える瞬間が一番のやりがいを感じる時です。

2026年抱負

「温故知新」



統括施設長  
**野老順子**

両親が市役所の福祉課に勤務していたことで、地域支援ができた良いなと思っていたところ、求人を見つけて応募しました。

利用者が希望を持って一つ一つ歩み、次のステップに繋がる姿を見ることが出来ます。

職員、利用者共に過ごしやすい環境にしたいことです。



統括施設長  
**上野泰典**

就活学生だった頃、野老事務長が学校の職場説明会に来ていたこと。

利用者・相談者と一緒に悩めること、答えのないことを一緒に考える時間。

自分を活かしつつ、周りを活かす。



施設長  
**末永慎介**

他法人にいた頃から精神障害者支援を指針としていました。一員として働きたいと思ったため。

地域移行支援で実績を積み、長期入院の緩和の一助になっていると感じられること。

千葉拠点新規事業プロジェクトを完成させ、地域の福祉に貢献します。職員の皆さんが安心して仕事に取り組める環境づくりに努めます。



施設長  
**小助川左代**

子供が小学校にあがるのを機に、精神障害に関する仕事を再開したいと思い、家から近いたんぽセンターに、イチかバチかと問い合わせしてみたのが、始まりでした。

利用者と共に悩んだり、喜んだり、生きること。また最近では、様々な地域の方との繋がりが増え、地域に根をおろしているんだなと実感するとき。

柏拠点二十周年、団結を強めたい！



施設長  
**橋本義隆**

精神障害者支援をすると決めて大学に進学。学生の時に、ワーナーホームでボランティアとアルバイトを経験して、ここで働きたいと思ひ、入職しました。

利用者にも地域にも必要とされて、関わる中で変化していく、目標を達成していくこと。

健康に気を付けて、みんなで楽しく仕事をすること。



施設長  
**市東達也**

前職で地域活動支援センターに関わっていたので、利用者との触れ合いを求めて採用のお願いに伺った。

利用者が自らの能力の向上を実感し、自信をもって次のステップへの取り組みが見られること。

利用者が日々笑顔で過ごせる環境づくりに努める。

# わーな一日誌[拡大版]

～日々活動している中で`ほっこり、`うれしい、出来事をまとめました～

## 新ホレフ寮・クロワール

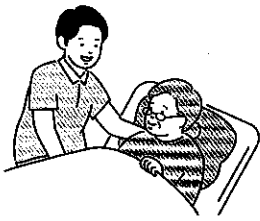
ホレフでは毎週日曜日、お菓子や飲み物を一個一〇〇円で販売する「喫茶するん」を開店しています。とある日曜日、喫茶の小道は一〇〇円と決まっている食いしん坊の二人が来店。あんなにも食べたいけどクリームパンも食べたい。お互いの視線はそれぞれのパンを追いながら一個を抱え席につきました。同じ



テーブルに座った二人は、どちらからともなくパンを半分に割り交換。「美味しいよ」の言葉と満面の笑みを向けてくれた二人に、思わず笑顔で返した一幕でした。ふと見せる何気ない仕草、日々交わす言葉の中に山の宝物が潜んでいます。

## ファミリー

ある日、利用者から不安そうに話しかけられました。「いつまでファミリーに居られるかわからないよ」と、お金の心配をしていました。そんな心配はしなくて大丈夫だと伝えると、ほっと胸をなでおろしたような表情に。すると今度は、「来年とか、もしかして異動するの。」あなたが担当で良かったと思ってる、変わってほしくないな。」その言葉に、担当である職員がほっこりしてしまいました。法人内の動きはどうなるかわからないけど、「あなたが担当で良かった」と言ってくれたその気持ち、何より嬉しい一日でした。



## ぶらり

毎日、その日の晩のおすめのテレビ番組や、自分が見た時代劇のタイトル、出演した俳優さんの話など、たくさん職員みんなに伝えてくれるYさん。最近では職員と話をしながら、ゆっくりにお茶を楽しんだり、好きな買い物をしたり、穏やかな生活をして過ごしていますね。

振り返れば、四年前、ぶらりに初めて来た時は、病院を退院した直後で、薬の影響もあってか落ち着かず、大変だったけど、今ではすっかり、ぶらりでの生活を楽しんでいるように思います。これからも、テレビ番組の話や興味関心のあることを職員みんなに教えてください。



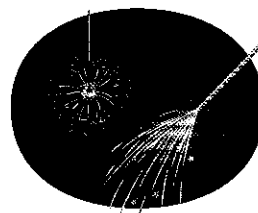
## フジエール

利用者Tさんに次の勤務について聞かれ、娘が結婚するためお休みすることを話すと、「遠くに行って寂しいし心配だね」「危ないことに気を付けるよ伝えてる？」「幸せになるように祈ってるよ」と、娘の心配やお祝いの言葉をたくさんくれた。「私が祈ってもしょうがないかあ(笑)」と照れながら謙遜していたため、「そんなことないですよ、嬉しいですよ！」とお礼を伝えた。まるでお父さんのように心配してくれ、Tさんの優しくあたたかい気持ちに触れることができた。



## エクラス

先日エクラスの花火大会が行われました。当日は快晴でしたが、強風が吹いていました。それでも開催することになりましたが、最初の打ち上げ花火から、なかなか着火することができませんでした。「これはまずい。」と職員が心配しているなか、手持ち花火の時間になりました。やはり着火に手間取っていると、利用者達は状況を察して、火のついた花火を持っていく利用者の側に寄って、火を分けてもらっていました。自然と笑顔と会話が弾んでいました。利用者同士で協力し合っている姿にほっこりし、職員も助けられました。



## だいち

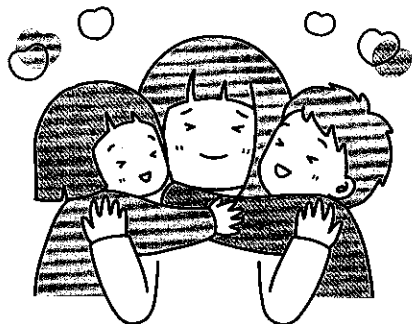
だいちには、利用者や職員にニット帽を編んでくださる方がいます。ひとつひとつ丁寧に編まれた帽子には、その人の優しさやぬくもりが込められています。ある利用者は「デイサービスに行く時や、夕食の時間にも帽子を被って過ごされています。帽子を作った利用者が食事を食べに来た際に「器用ですね」と職員が褒めると嬉しそうに笑っています。個性に合った色や柄がとてもよく似合い、その姿を見ると職員の気持ちもほっこりします。場の雰囲気やわらぎ、自然と笑顔が広がります。人の気持ちが形になるって、本当に素敵だなと感じました。



## そろりまめ

Mちゃん（二歳）が泣いていて、職員みんながそちらに集中したときにAちゃん（十二歳）が声を出したり、職員の服を引っ張ったり！

焼きもち姫といっているのかなと思ったり、どうやら「私も抱っこしたい！」という意思表示だったよう！お姉さんの気持ちが芽生えたようで、出会った二年前から成長が見られてほっこりしました。



## すすすすステップ

しばらく入院していて久しぶりに利用した子をお迎えに行くと、私の顔を見た瞬間、にっこり笑ってくれました。普段は表情がわかりにくい子だったので、本当にうれしく感じました。すすすすでも一日中笑顔が多く、楽しんでいる様子がよく見られました。その子がすすすくを心待ちにしてくれていること、安心して過ごせていることが伝わってきて、とても幸せな気持ちになった一日でした。お母さんにもその様子を伝えると一緒に喜んでくれて、さらに胸があたたかくなりました。



## ヘルパーステーションそら

学校送迎中、普段は手を触られるのを嫌がるMちゃんですが、その日はなぜか冷たい手をさする職員の手を払うこともなく、しかもリズム良くギョツギョツと何度も握ってくれ、ほっこりしました。



## ホレフデイサービスセンター

ホレフデイサービスセンターは日常の中にほっこりがたくさんあります。歩行が少しずつ不安になられている方が増えていますが、ゆつくり一緒に歩く帰りの道のりは貴重な時間です。「明日はカラオケだね、お風呂に入れる？寒くなってきたね。」とのんびりおしゃべりを楽しみます。介助の後に「ありがとうございます」と言ってくれたり、プログラムの準備を手伝ってくれたりもします。入浴では、湯船の中でリラックスしていたり、こっそり泳ごうとしてはにかんだりする姿に職員は気持ちがほっこります。



## ペシーフル高田

お昼のまかないの準備をしていたときに、お箸を取り忘れた利用者のNさん。慌てて取りに来たので、お箸を渡してあげました。はつきり喋る事が難しく、普段マスクもしてお顔が見えないのですが、その時はマスクオフ。満面の笑顔で「ありがとございます」と大きな声でハッキリ言ってくれました。その場にいた職員がみんな嬉しくて、笑顔になりほっこりました。



## 長生地域生活支援センター

絵を書くことが好きな利用者Aさん。ここ数年、通所先の事業所で行っているアールブリュットで作成した絵を、東金市にある城西国際大学の学園祭で展示してもらっています。

今年は長生地域生活支援センターのプログラムで学園祭にいき、利用者の皆さんと見てきました。みんなが、「すごい上手」と驚いていました。Aさんにみんなが「上手」と言っていたことを伝えると、普段は見ないほど嬉しそうに喜んでいただけがとてもほっこりました。



## 地域活動支援センターたんぽぽセンター

様々なプログラムの中で、特に人気のある一つがカラオケです。最近では土曜日に実施することもあります。タンバリン、マラカス等を使ったり、デュエットしたり毎回とても盛り上がります。



ある日、利用者Aさんが「マツケンサンバ」を歌い、その曲に合わせて他の利用者が踊るという事がありました。その場にいた周りの利用者や職員も見よう見まねで一緒に踊ったり、タンバリンやマラカス、カスタネット、手拍子でリズムを刻み大盛り上がりでした。みなさん、生き生きとした表情をされていた。とてもほっこりしました。

## みつばち訪問看護ステーション

職員の退職・休職により訪問スタッフが不足し、利用者の皆様へ訪問日時や担当者変更、場合によっては移管をお願いする状況が続いています。

先日、長くご利用の利用者に継続か移管かを確認したところ、「これまで支えてもらったみつばちを支えたい」と継続を選んでくださいました。

その言葉に胸が熱くなり感謝を伝えましたが、後日その方から「笑っていたけど元気がないように感じた」とお電話をいただき、気分転換にとスイーツ店を紹介してください、その優しさに心が温まりました。



## ワークシヨップしらさと

居住系から異動してきて早半年が経過し、覚える事がたくさんある中でいくつか嬉しい事がありました。

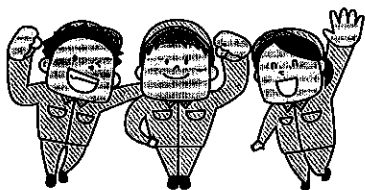
「三十五歳までに就職がしたい!!」と話していたTさん。今まで就労経験はあったものの上手いかわずワークシヨップしらさとで日々農園・外勤作業に取組んできました。ある日「また就職を目指したい!!」と相談があり、山武ブリオ協力のもと本人が一生懸命努力し、とんとん拍子に進んでいき就職が決まりました。



就職が決まったからのTさんは人が変わったかのように明るくなり、表情も豊かになっていきました。

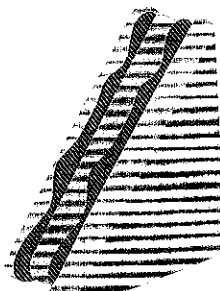
## ワークシヨップおおあみ

九月からワークシヨップおおあみに異動して初めて担当した作業指導員。納期がある作業に対して「今日の目標達成できるかな」と不意に心の声が零れた。それを聞いていたOさんに「大丈夫だよ。みんなやればできるよ。絶対できる」と励まされた。その後、皆の協力体制のもと見事目標達成!「ほらやれたでしょ? みんなで頑張ればできない事なんてないよ」とOさんの満面の笑み。共に奮闘した仲間たちも顔をほころばせる。これからも一人ひとり、自分のペースを守りながら、日々小さな成功体験を積み上げていきたい。



## ワークシヨップ茂原

ワークシヨップ茂原には発達障害のAさんが在籍しています。通所が始まった頃は、落ち着きがなく、椅子に座るまで大変時間がかかっていました。手洗いや難しい、職員が彼女の手を代わりに洗っていました。しかし通所して八か月になった今では、一人でパンの袋詰めやサンドイッチ作りができるまでに、成長しました。また課題だった手洗いも、練習を続け、今では職員が側にいない時も、しっかりと洗うことができるようになりました。

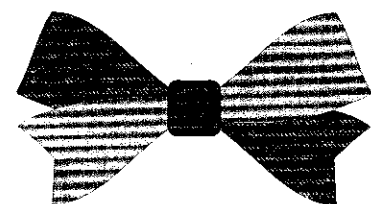


Aさんは今も成長を続けています。彼女の可能性に、支援者の私も毎日ワクワクしながら過ごしています。

## ワークシヨップ録取

朝礼の前にAさんが、紫色のハロウィンコスチュームを着せたミッフィーのぬいぐるみを持って来て「ミッフィーちゃん見て」と笑顔がいつぱい。自作のリボンを見せて「かわいいって言ってください。」と。「かわいいね。」と伝えるとAさんは「きゃ」と本当にうれしそう。

行事の参加を楽しみにしており、絵も上手でクリスマス会のイラスト作成などに大活躍。

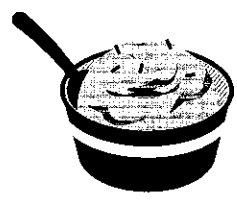


Aさんの明るさに、私たちも元気をもらっています。Aさんのまつすべな笑顔を見るたびに、喜びを共にすることの大切さを改めて感じます。

## わたげワークス

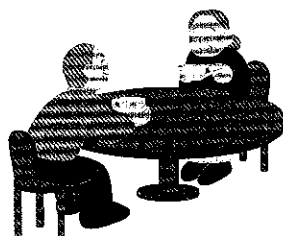
就労プログラムで「自己PRについて考える」の発表で、参加利用者から「私はマックに行ったらいつもマックフルーリーを頼む、ま○○(自分の名前です)」と元氣よく答えてくれました。

マックではクッキー入りのものを食べると教えてくれました。利用者と職員とで笑顔になり、本人と利用者の間で親しみを感じたような空気間になり、ほっこりしました。普段は他利用者と話すことが少ない方ですが「マックフルーリー美味しいよね」と言われて、照れくさそうに下を向いて少し困ったような表情と、でも嬉しそうなお顔が見られてほっこりしました。



## ペシーフル柏

カフェ内の忙しいピーク時間に、困っていたメンバーさんを見て、普段は自分の作業に集中しているメンバーさんが「手伝おうか?」と優しく声を掛けてくれました。その一言に、難しい顔をして作業をしていたメンバーさんも笑顔になり、「ありがとう。助かる」と返しました。自然に生まれた思いやりの気持ちはカフェの空間を温かくしてくれ、お互いに支え合いながら成長していく姿に、胸が温かくなりました。小さな助け合いが、大きな力に繋がった、心が温まったひと時でした。



## 就労選択支援事業

10月1日

## 事業開始

ワークショップしらさと  
ワークショップ茂原

十月一日より「就労選択支援事業」がスタートしました。就労選択支援事業とは、障害のある方が就労先や働き方についてより良い選択ができるように、就労アセスメントの手法を活用して本人の希望、就労能力や適性等にあった選択ができるよう支援する事業です。

対象者は、新たに就労継続支援B型事業を利用希望される方が必須となります。(一部の方は就労選択支援事業を利用しないことも可能です。)また、新たに就労移行支援又は就労継続支援A型事業を希望される方や就労系サービスを利用されている方で更新等の意向がある方も利用することができます。

ワナーホームでは、ワークショップしらさと(本部拠点)、ワークショップ茂原(長生拠点)が事業を行います。利用された方が自分らしい過ごし方を見つけていただけるよう支援いたします。

(林)

## ワナーホームの主な動き

- ・理事会
- ・夏レク(あさくま蘇我店)／だいち
- ・わくわくフェス(柏市教育福祉会館 Sand wich cafe PAISIBLE 柏)／ベジーブル柏
- ・城西国際大学学生・ホレフデザイン・ビスセンター地域交流会(城西国際大学)／ホレフデザイン・ビスセンター
- ・ピアサポート交流会(パンプキンハウスホール)／山武フリオ
- ・ぶどう狩り(小川園・夢庵)／地域活動支援センターたんばぼセンター
- ・日帰り旅行(わたしの田舎谷当工房)／フジエール
- ・夏レク外出(欲しかったが見つかる)／(R)二六号線沿道(東金市・山武市)／ぶらり
- ・秋レク(マザー牧場)／ワークショップ茂原
- ・ボツチャ(豊田福祉センター)／長生地域生活支援センター
- ・ピザ釜作り(すくすくハウス)／ベジーブル高田
- ・理事會
- ・柏市立第五小学校との地域交流・町探検(PAISIBLE)／ベジーブル柏
- ・すくすくハウス秋祭り／すくすくハウス
- ・第三十回みんなのまつり
- ・栗拾いイベント(栗畑)／わたげワークス
- ・ホテルランチャバイキング(南柏ルクソ)／わたげワークス
- ・パッティングセンター&屋食会(豊四季ドームスタジアム、インド食堂&酒場カリまら)／地域活動支援センターたんばぼセンター
- ・地域連携推進会議／エクラス
- ・シナリー祭シナリー株式会社)／ワークショップしらさと
- ・ピザ釜作り(すくすくハウス)／ベジーブル高田
- ・ハロウィン(すくすくハウス)／すくすくハウス(すくすく、ベジーブル高田)
- ・日帰り旅行(千葉ポートタワー)／だいち・ローリエ
- ・周年祭(PAISIBLE)／ベジーブル柏
- ・ラコルタフェス(柏市教育福祉会館 Sand wich cafe PAISIBLE 柏)／ベジーブル柏
- ・お茶会(介護棟)／ホレフデザイン・ビスセンター
- ・在職者交流会(別館、長生村文化会館)／山武フリオ
- ・ハロウィンパーティー(たんばぼセンターホール)／地域活動支援センターたんばぼセンター
- ・文化祭(たんばぼセンターホール)／地域活動支援センターたんばぼセンター
- ・地域連携推進会議／フジエール
- ・花火大会(柏下駐車場)／エクラス
- ・秋レク外出(さわやかな空気に触れよう!)／(アリオ市原&周辺のショッピングモール)／ぶらり
- ・ピザ釜作り(すくすくハウス)／ベジーブル高田
- ・七五三(すくすくハウス)／すくすく
- ・一〇〇〇人におおぞらコンサート(すくすくハウス)／すくすくハウス
- ・理事會
- ・クリスマス会／本部拠点
- ・クリスマス会／千葉拠点
- ・クリスマス会／長生拠点
- ・クリスマス会／わたげワークス
- ・クリスマス会／地域活動支援センターたんばぼセンター
- ・クリスマス会(柏まねきねこカラオケ店)／エクラス
- ・忘年会(各ホール)／だいち
- ・忘年会ベジーブル柏作業室)／ベジーブル柏
- ・ベジーブル柏見学会(ベジーブル柏作業室)／ベジーブル柏
- ・八街マルシェ出店(明徳やちまたこども園)／ワークショップおおあみ
- ・ピザ釜作り(すくすくハウス)／ベジーブル高田

## イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

## 《会費》

賛助会員 三,〇〇〇円(年)  
正会員 一〇,〇〇〇円(年)

## 編集後記

広報イキシア一〇〇号を迎えました。イキシア一号が発行されたのは一九八三年八月です。広報イキシアを継続できています。皆様のお力だと思っています。ありがとうございます。今後もワナーホームの活動報告を含めて皆様に情報発信をしていきたいと思っております。引き続きご愛読よろしくお願い致します。



発行所

ワナーホーム  
イキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話

0475-77-2100(代)

URL

https://www.wanahome.or.jp

発行人

寺田 一郎